
或る日或る時或る世界の下で

夢猫

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

或る日或る時或る世界の下で

【Nコード】

N6660L

【作者名】

夢猫

【あらすじ】

マイペースな女の子と、ナーバスな魔王様の話。

（前書き）

初投稿です。

駄文ですので、文学で脳の肥えた方、ご注意を。
ヒドさに貧血を起こされても、責任は負いかねます。

と攫われた。

その日、南で一人の少女が空へ

暗き者に

よって。

序

世界は、四の柱に支えられている。

柱の名は「魔王」。

重みに耐える痛みに代わり、世界に於いて少なからぬ力を与えられた者。

東西南北、その地に魂を縛られ生きるもの。

世界は、森羅万象と銘打たれた扇を以て、

ゆるり、

ゆらり、

変化と時とを紡ぎだす。

繕よるるのは宿命さだめ。世界そのもの。

よく見れば、繕り込み損ねた運命たちが、紡いだ「時」に絡まっている。

黒い四本は、四の柱たち。それに纏まとわるのは、柱が「時」から抜き出した者だろう。

白い一本、是これはあれだ。「神」と呼ばれるモノ。

世界が創らなかった、人間ひとの護り主　　否、魔王を屠るモノ。

誰が決めたのか、人は、信じ始めた。
在るがままの現実を、忌み嫌う。

こう在るべきでないモノ、異端なモノは排除せよ。
人間ひとが、正義。

どの辺りからか、正義と悪という、妙なものが細糸に混じり始めた。

正義で自身を護ろうと、人間ひとは、神を生み出した。
人の戒律に添わぬ魔王たちに、悪という称号を押し付け、正義を振りかざして、神は魔王を壊そうとする。

魔王はしらを壊したら、世界わたしが壊れるじゃないか。
まあ、困りはしないが。

ゆるり、ゆらり、紡いでいると、時たま、「異端」が縊りはぐれる。

信仰という名のマヤカシに、染まらずに、目を覚ます。

異端は、世界に近いものだ。

在るがまま、在ろうとするから。

（後書き）

序文で体力を使ったので、物語は、次回から進めます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6660/>

或る日或る時或る世界の下で

2011年1月27日00時18分発行